

















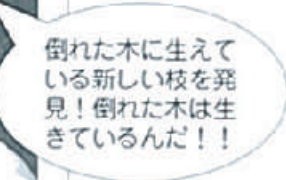

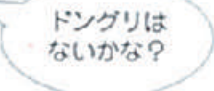





プログラム名	“ナッチュのはやし” はみんなのワンダーランド						
対象年齢	年長（5～6歳）						
ねらい	メッセージ	自然の大きさや力強さを感じとり、すべてのもの（朽ちた木や倒れた木）が林には役に立っていることに気づこう					
	発見・体感できること	・木の音 ・木に登った時の達成感、気持ちよさ ・ツルの長さ・太さ	・地面を踏みしめる感触と木の感触の違い ・ドングリの大きさ・形・感触 ・木とツルの関係				
参加者のめやす	幼児	8人×3グループ			／	支援者	6人
実施時間	55分						
フィールド (実施場所)							
	森・社寺林・公園	山・里	川	湖・池	畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時 間	活 動			●配慮・アドバイス◎アレンジ			
5分	《くぐって 登って おさる になろう》 ①木の音を聞く ・木に耳をあてる ・木をたたく (倒木と立ち木を比較)			※「ナッチュ」は甲賀市立岩上保育園のキャラクターです。→p13「キャラクター」参照 ●音を聞いた時に、子どもたちが発見したことに共感し、立ち木と倒木の違いを気づかせるようにしましょう。			
10分	②おさるに変身！ ・木をくぐる ・木に登る ・木を渡る ・木にぶらさがって、降りる（繰り返し遊ぶ）			●木のぼりが好きな動物になりきって、森の中で遊ぶ楽しさが感じられるようにしましょう。 ●支援者は、木の上り下りの手助けをし、危険な場面では、その都度援助をします。 ●遊びの中から出た子どもたちの言葉を受け止め共感しましょう。 (子どもたちの声) 「毛が生えている木がある。すごい！」 「きのこ！きのこ！木にきのこが生えている！」			
				「魔法を使って、おさるに変身！ウキッ!!!」			



時間	活動	●配慮・アドバイス◎アレンジ
5分	③感想を聞く (見つけたもの・気づいたこと) ・なぜ木が倒れたのかを投げかける 	●子どもたちが発見したことや気づいたことに共感し、自然の力強さや生命力に気づき、すべてのものが林にとって役立っているということをお話します。 (子どもたちの声) 「倒れた木は、根っこが取れて水が入らないから死んでると思う」 「台風で倒れた」 「怪物が倒したんとちがうか」 「木はみんな生きてるんやな」 「木は強かった」 
5分	《ドングリを探そう》 ④緑や茶色・帽子の有無・大小などいろいろなドングリを探す 	
5分	⑤探したドングリの大きさや色、形などを比べる 	●比べることで、子どもたちが発見したことや感じたことを話し合しましょう。 ◎的を決めてドングリを投げる遊びができます。
3分	⑥ドングリを自然にかえす 	●ドングリが虫や動物などの食べ物になることや新しい生命になることを伝えます。
10分	《『木づく』『見ツルける』》 ⑦ツルを使ったあそびを考えてみる ・トンネルのようにくぐる ・ひっばる ・ぶらさがる など 	●ツタウルシに注意しましょう。 →p72-2「危険動植物写真」参照 ●遊ぶ場所のまわりに危険なものがないか、またツルの強度を確認します。 ●活動場所の範囲を決め、今回使う木とツルを知らせます。 ●遊びが考えられるように投げかけたり、支援者も一緒にやってみたりしましょう。 ●遊びを通して、ツルの丈夫さに気づくようにしましょう。